

甘夏ミカンの花の芳香成分(ネロリ)の 特殊抽出による量産体制の確立

株式会社 ネローラ花香房

試作開発・設備投資

事業者の概要

企業名	株式会社 ネローラ花香房	業種	化学工業
代表者名	代表取締役 森田 恵子	T E L	0966-84-9707
設立	平成21年1月	F A X	0966-84-9708
住所	熊本県水俣市浜松町4-100	U R L	http://www.neroli-hana.com
資本金	2000万円	E - m a i l	morita@neroli-hana.com
従業員数	3人	担当者名	森田 恵子

事業内容・経緯

当社は当初、芳香蒸留水を中心に化粧水を製造していたが、世界で初めて甘夏ミカンの花の芳香成分(ネロリ)原料を抽出する方法(インフューズド抽出法)を開発し、美容液や化粧クリームの製造販売を行っている。当時は抽出装置がごく小規模なもので生産量も少なかったため、国内外の化粧品原料卸大手企業などからOEMでの大量生産体制の確立を要望されていた。そこで、この製造技術の特許手続きを行うとともに、抽出機材の開発に着手した。まずは、装置を使つての適切な抽出工程の技術ベースを確立するために、小型の抽出ろ過器を作成。その後、冒頭の要望に応えるための中型の抽出ろ過器の製作および、実用化を目的とした試作開発のため、ものづくり補助金を活用し、抽出ろ過器の滅菌乾燥処理を行うための大型高温乾燥装置を導入した。

事業の成果

事業を進めるにあたって、まずは小型のろ過抽出器を使って、すでに製造経験のある抽出方法、ろ過方法を確認するとともにろ紙の選定を行い、使用するろ紙によって結果が大きく左右されることなどを確認。次に、中型のろ過抽出器の開発に着手。ろ過状態を常に見ることができるようすべてガラス製となっており、適切なろ過速度を実現でき、吸引圧力にろ過器が耐えられる強度を得られるよう設計を行い、抽出器を製作した。大量抽出や大量ろ過の試作を繰り返し、適切化を進めた結果、技術を確立することができた。これにより以前に比べて製造能力は約20倍となり、抽出精度も向上したため安定して高品質なものを製造できるようになった。また、作業効率も上がり、自社商品の売上増にも寄与した。さらに、独自のろ過抽出方法についても昨年特許申請を行っている。

今後の展望

世界的な環境意識の高まりと相まって、1990年代からヨーロッパで始まったオーガニックコスメブランドの拡大はアメリカ、アジアと主要市場を移しながら拡大している。日本でも2008年から2009年に急激に市場が拡大して以降、成長が続いている。一方で製品の多くは欧米からの輸入品が多く、少数の国産ブランドも原料は海外からの輸入に頼っている。当社も今回の事業で世界で唯一技術を確立したネロリ(甘夏ミカンの花の香気成分)の量産体制を確立できたことで、国内外の化粧品メーカーからOEMでの原料供給を求め、多くの注文が入っている。オーガニックの国際認証を受けた甘夏ミカンの花という特化した原料でもあるため、今後も多くの需要が見込まれるため、びん詰めやパッケージなどを行う機器の導入も検討している。



▲ものづくり補助金を使って導入した中型のろ過抽出器



▲一次ろ過を行ったもの(右)と二次ろ過を行ったもの(左)



▲甘夏ミカンの花から抽出した芳香成分を使ったネローラ花香房のオーガニック化粧品